

学力向上に効果のある取り組み事例

杵築市立杵築小学校

⑰ 校内研修などによる授業改善

<「毎年の積み重ね」「日々の積み重ね」を大切にする授業改善の取り組み>

本校では、授業改善の取り組みを行うにあたり

- ①前年までの「成果や課題」を全員で共通理解し、「子どもたちについてきていける力・伸ばすべき力」を明確にして、その年の取り組みをさらに重ねること
 - ②学力の向上を促し、支える取り組みを「どの教室でも」日々積み重ねること
- という2つの「積み重ね」を大切にして、校内研修に取り組んでいる。

「毎年の積み重ね」を大切にする取り組み

- ◆第1回の校内研修において、全員で「これまでの校内研究（授業改善）の歩み」と、「本年度の重点」が生み出された経緯を共通理解した。 ※パワーポイント活用



本校の子どもたちの「ついてきた力」「伸ばすべき力」を知ること
毎年が「新しいスタート」ではなく、**取り組みの「積み重ね・スパイラル」**が可能になっている

「日々の積み重ね」を大切にする取り組み

- ◆同じ方向性を持って日々取り組んでいくために、「杵築小学校の『どの教室でも』」を共通理解した。（第3回校内研修） ※パワーポイント活用

2022年度授業改善（校内研究）テーマ

共に学び合う授業を求めて

～「子どもたちどうしのつながり」と『やるぞ！』の気持ちを生む手立ての工夫を通して～

－ 重点的取り組み －

- <1学期>子どもたちの「やってみよう」「え！？」につながる「めあて」「課題」の設定
- <2学期>目的の明確な交流活動（ペア・グループ活動）の設定と活用
- <3学期>学び合いを通して「わかったこと・できたこと」「なるほどと思ったこと」「次にがんばりたいこと」を位置づけたふり返りの実行



- ①どの時間の授業にも「めあて」を示すこと（カードの使用による子どもたちへの「見える化」）
- ②子どもたちにとって「学びの地図」となる板書の実行
- ③基本的な学習過程
- ④子どもたちが、「友だちの考えや思いを理解しているか」を確認しながら授業を進めていく
- ⑤個に応じた授業を進めていく
「その子の実態をつかむ」→「ではこうしてみよう」

- ◆毎回の校内研修では、日々の取り組みの様子を語り合い、意見を交わし合う時間を持っている。それにより、各自が、自分の実践をふり返ったり、ヒントとなる見方や考え方を得たりすることで、質的な向上を図ることができている。



- ◆取り組みの検証やふり返りを通して、次に取り組むべきことを明らかにし、ポイント化して共通理解している。そのことにより、みんなが同じ意識と方向性を持って取り組むことができている。

< 2022年度 2学期始め 共通理解事項資料 >

子どもたちが、学ぶことへの安心と自信を持ち、「やるぞ」スイッチが入る授業づくりをさらにすすめる

<キーワード> **安心・自信・「やるぞ」スイッチ**

- ①安心して学べる共感的な学級風土をつくり、子どもたちの「やるぞ」スイッチをいれる教師のポジティブな声かけ



おいしいな。〇〇なところに目を
むけられると、もっといいよ。

〇〇ちゃんの考えをくり返し
て言えるなんてすごい。しっ
かり聞いていたんだね。



教師自身が態度にして、言葉にして、子どもたちに伝え、広げていく。

- ②何のために・何を話し合うのか明確にしたペア・グループ活動の継続
(2学期重点)

- ・課題の解決を進める場として(自分の力で・みんなの力で)
- ・主体的に学びに関わっていく場として(「自分の声」を発する場)
- ・自信を持つ場として

- ③「できる！(身についていることの自覚)」から入る授業スタイルの継続

- ④「個人差」に目を向け、それを補う指導の工夫

- ・実態の把握 → つまずきの想定 → 手だて(授業の中で・個別な関わりで)
- ・子ども同士力を活かす
(「教え合う(説明し合う)」ことは、「みんな」の力を伸ばすこと)

- ⑤「次の自分」につながる「学びの『ふり返り』」を取り入れていく
(3学期重点)「わかった・できた」「なるほど」「次にこれをがんばりたい」

伸びている力をさらに伸ばし、足りないことを補いながら・・・
「ひとつ上の杵築っ子」を目指して

